

contents

- ・地域連携室長就任のご挨拶
- ・診療科からのお知らせ
- ・新任教授のご紹介
- ・医療ロボットダヴィンチを更新・増設
- ・診療科紹介
- ・鼻アレルギー外来を開設
- ・公開講演会スケジュール



【杏林大学医学部付属病院】
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel. 0422-47-5511 (代表)
<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

■ 地域医療連携室長 就任のご挨拶



付属病院副院長
地域医療連携室長

塩川 芳昭

脳卒中センター長 / 脳神経外科学教授。専門は脳血管障害、良性脳腫瘍、頭蓋底疾患

今年度から地域医療連携室を担当することとなりました塩川芳昭です。専門は脳神経外科で、今までは脳卒中患者さんを中心とした連携に関わってまいりました。しかしながら、医療の高度化や超高齢化社会到来などを今更申し上げるまでもなく、医療における病院間や病院・診療所間の緊密な連携の重要性は、脳卒中に限らず多くの疾患においてますます高くなっております。また、複雑化した医療内容を反映して患者さん一人ひとりに対して個別に異なる医療ニーズに的確に応えることが求められています。

従来より杏林大学病院では、地域医療連携室

(地域医療連携係、医療福祉相談係) と入退院管理室が患者さんの診療支援や地域連携を担っておりましたが、本年7月を目途に新たな体制で取り組めるよう、日常診療を行いながらの改革をすすめている最中です。

今お読みいただいている「杏林大学病院ニュース」の表題右に記されている「地域医療の充実を目指して、関係機関の皆様とともに」のモットーは変わらず、患者さんやご関係の皆様方にはより良い医療連携をご提供できるよう努めておりますので、昨年を引き続きよろしくご支援・ご指導のほどお願い申し上げます。

■ 新任教授紹介



第一内科学教室
(腎臓・リウマチ膠原病内科)

要 伸也

東京大学医学部医学科卒業。公立昭和病院腎臓内科、東京大学医学部附属病院分院内科助手、米国ラホーヤ癌研究所(現Burnham 研究所) 研究員、東京大学第四内科医局長、東京大学大学院医学系研究科腎疾患総合医療センター講座客員助教授などを歴任。平成19年2月杏林大学医学部第一内科学教室に着任。腎・透析センター長。現在に至る。

腎臓・リウマチ膠原病内科で、とくに腎臓分野を担当します。腎疾患は幅が広く、かつ、全身を見ていく必要があるため、高い専門性とともな“General medicine”の視点が求められます。透析医療では、導入期と合併症時の支援を行い、腹膜透析や様々な血液浄化療法もサポートして参ります。また、病診連携や感染・災害対策を通じて地域連携を推進し、多摩地区の基幹施設としての役割も果たしていくつもりです。



精神神経科学教室

渡邊 衡一郎

慶應義塾大学医学部卒業。国家公務員共済組合連合会立川病院神経科医員、医療法人財団厚生協会大泉病院医員、慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 専任講師などを歴任。平成24年4月杏林大学医学部精神神経科学教室に着任。現在に至る。

精神科疾患に対する薬物療法として、当事者の方との双方向性コミュニケーションによる治療方針決定法の普及などに努めてきました。他にも当科では、認知行動療法、睡眠医学、診断学、そして脳刺激療法などを専門としております。23区西部、そして多摩地区のクリニック、病院と連携して地域のニーズにお応えできるよう、今後臨床の質を更に向上させ、臨床に根ざした研究を発展させたいと考えています。



外科学教室
(呼吸器・甲状腺外科)

平野 浩一

慶應義塾大学医学部卒業。国立がんセンター頭頸科レジデント、同頭頸科 シニアレジデント、同がん専門訓練医(頭頸科)、国立がんセンター中央病院 頭頸科医員、栃木県立がんセンター頭頸科医長などを歴任。平成14年1月 杏林大学医学部耳鼻咽喉科学教室に着任。形成外科学教室(頭頸部腫瘍外科)を経て現在に至る。

甲状腺外科では、甲状腺・副甲状腺の腫瘍性疾患および機能障害などを担当します。東日本大震災にともなう福島第一原発の事故により、甲状腺に不安を感じている方々が多くいらっしゃるの事実です。癌の有無にかかわらず来院される方々の不安を取り除くことは大切な仕事と考えています。そのために十分な説明をして安心して治療や手術を受けていただけるよう尽力いたします。一方で甲状腺外科医の育成も大切な使命と考えています。

診療科紹介

救急科

救急科は、救命センター（TCC）三次外来処置室とTCC集中治療室で診療をしています。年間約1,800人来院する救急患者のほとんどは、消防庁の指令センターからの119番を経由する重症患者です（開業医からの転院依頼は専門科へ直接依頼されるか、A・T・T科で振り分けをしています）。当科での初期対応は超重症患者に限定されており、集中治療を経て適切に加療されていきます。

当科では心肺停止状態、循環器疾患、脳卒中、外傷、中毒が全患者の8割を占めます。他に、20%を超える広範囲の熱傷やガス壊疽などの外科的処置が必要な特殊感染症にも対応しています。最近では、目撃のある心停止に対する経皮

的心肺補助装置の装着や多発外傷症例に対する動脈塞栓術の併用など、積極的に先進な治療を行い、成績を評価して学会で発表をしています。

また、有事の際、地域に貢献出来るよう、当科が中心となって秋の防災訓練を行っています。TCCスタッフや病棟の災害担当者に対しては、DMAT隊員が講義・実技などを行うなどして、地域に還元できる対策をとっています。

3病棟のヘリポートは、当科やTCC職員が中心となり、東京消防庁航空部隊と連携して運用しています。山岳や島しょからのヘリ要請に対応すべく、飛行訓練や受け入れ訓練も実施しています。今後も、日常診療のみならず地域の防災も含めた連携を担ってまいります。

心臓血管外科

心血管系の疾患は生命に直結することが多く、通常の日常診療に加え救急患者への対応が強く求められます。この期待に応えるべく当科では休日・夜間でも可能な限り対応しています。

対象疾患は、心筋梗塞や大動脈解離、胸部・腹部の動脈瘤とその破裂、末梢動脈閉塞等ですが、従来の侵襲の大きい外科手術に加え、最近では技術や診療器具の進歩があり、より侵襲の小さい手術や手技の導入を進めています。

これら日進月歩の医療技術を積極的に取り入れ、大動脈瘤に対するステントグラフト挿入術や末梢動脈閉塞に対する血管内治療・ステント留置術、静脈瘤に対するレーザー治療も日常的に行っています。ただ、これら新しい技術には利点がありますが、完全に従来の手術の代用となるものでもないため、その特性を見極めて従来の手術も含め多様な選択肢の中から疾患と患者の状態に応じた最適の組み合わせを選んでいきます。

近年いわゆるエコノミークラス症候群が世間に認知され、静脈系の疾患も注目されるようになりました。当科では末梢血管部門で深

診療科からのお知らせ

鼻アレルギー外来を開設

「耳鼻咽喉科」

耳鼻咽喉科専門外来に鼻アレルギー外来を開設し、アレルギー性鼻炎を中心に専門的な検査や治療を行っています。

患者さんの症状などに応じて、保存的治療、局所麻酔下レーザー等を用いた鼻粘膜焼灼術、全身麻酔下での後鼻神経切断術を行います。さらに来年のスギ花粉をターゲットにした免疫療法（舌下免疫療法など）も施行します。

〔診察〕 毎月第1・3水午後2時～4時
※原則として予約あるいは紹介制です

平成26年度 杏林大学公開講演会（5月～9月）

日時・会場	テーマ	講師
5/10（土） 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	知っておきたい眼の病気 よりよい視力を守るために	眼科学教授 平形 明人
6/28（土） 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	循環器疾患 いかに上手に薬を飲むか	循環器内科教授 吉野 秀朗
7/5（土） 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	運動とリハビリテーション 宇宙飛行士の健康管理から学ぶ	リハビリ科講師 山田 深
7/5（土） 13:30-15:00 三鷹キャンパス	チーム医療で支えよう がん化学療法 がんと上手に付き合うために	がんプロ 4大学合同講演
7/12（土） 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	認知症をみる 地域で認知症をみるには	高齢医学准教授 長谷川 浩
7/26（土） 14:00-15:30 三鷹ネットワーク大学	「ロコモ」を知っていますか？ 介護を受けない健康な毎日を過ごすために	整形外科学教授 市村 正一
9/1（月） 18:00-19:30 三鷹キャンパス	緩和医療の進歩 がんの苦痛はどこまでとれるか	麻酔科講師 窪田 靖志
9/27（土） 13:30-15:00 羽村市ゆとりぎ	「ロコモ」を知っていますか？ 介護を受けない健康な毎日を過ごすために	整形外科学教授 市村 正一

会場のご案内
●杏林大学三鷹キャンパス：JR 吉祥寺駅よりバス。杏林大学病院内
●三鷹ネットワーク大学：JR 三鷹駅前協同ビル3階
●羽村市ゆとりぎ：JR 青梅線羽村駅東口より徒歩。羽村市生涯学習センター

前立腺がんの手術ロボットを更新・増設「泌尿器科」

泌尿器科で前立腺がんの手術に大きな成果を上げていている内視鏡下手術支援ロボットの「ダヴィンチ」が3月末に更新・増設され、2式の手術体制となりました。

当院はダヴィンチを、2012年6月に1台導入し、この1年半余りの間に約130例の手術が行われています。

今回、医師1人で操作する「シングルコンソールタイプ」を更新し、2人で同時に操作する「デュアルコンソールタイプ」を増設しました。これまでのものに比べ、画像の解像度が向上しているほか、操作の面でも、従来足元のペダル



ダヴィンチデュアルコンソールタイプ（株式会社アダチ カタログより）

で操作していたものが手元で操作できるなど使い勝手がよくなっています。現在ダヴィンチによる手術は、前立腺がんのみ保険が適用され、他の手術では自費診療となっております。しかし、消化器一般外科・呼吸器外科・婦人科領域でも利用可能な機器であるため、今後は保険対象手術が増加することが期待されています。

【共済立川病院 小児準夜間診療に医師派遣】

4月14日、共済立川病院（立川市錦町4）に準夜間救急診療室が開設しました。当院は、立川市医師会、小児総合医療センターと共に小児科医を派遣することになりました。